

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【小学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

さいたま市の小学校 第6学年の回答状況と自分の回答状況

質問項目の内、さいたま市が重視している10項目を抜粋して掲載しています。

将来に関する意識			
① 将来の夢や目標を持っている。	%	◎	
学校生活			
② 学校に行くのは楽しい。	%		
自尊意識			
③ ものこを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	%	◎	
④ 市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。			
⑤ 毎朝、同じくらいの時刻に起きている。	%		
⑦ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	◎	
学びに向かう力			
⑧ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。	%		
読書習慣			
⑨ 読書が好き。			
キャリア教育			
⑩ 学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、学んだこと、自分の将来とのつながりを考えている。			

表の見方

○さいたま市の回答状況
今回のさいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の各質問項目に、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」）を選んだ小学校第6学年の児童の割合（%）を示しています。

○自分の回答
自分が、肯定的な回答をした質問項目に◎が表示されています。

調査結果から、自分の生活で直していこうと思うことを記入して、今後の生活に生かしましょう。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。



「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。



保護者より

さいたま市教育委員会

令和5年度 さいたま市学習状況調査【小学校 第6学年】

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）

お子さんの正答数を示しています。

市の平均正答数を示しています。分母は問題数を示しています。※ここでは、国語は、全19問のうち、市の平均正答数は〇〇問であることを示しています。

さいたま市の平均正答率と自分の正答率

国語	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/19問	算数	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/20問
言葉の特質や使い方(9問)					変化と関係(4問)				
書くこと(3問)					エネルギー(5問)				
社会	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/16問	理科	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/18問
物理的環境と人々の生活(6問)					地球(4問)				
歴史と人々の生活(5問)					生命(5問)				

領域等の正答率を示しています。実線でお子さんの正答率を、点線で市の平均正答率を示しています。

- 正答数
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率
さいたま市の児童が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率
あなたが、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。

【令和5年度発行】
さいたま市立教育研究所



さいたま市教育委員会

名前

「学力に関する調査」の各設問ごとの解答状況等を確認することができます。
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

令和5年度 さいたま市学習状況調査【小学校 第6学年】

調査結果表

6年

名前

今年度	アドバイス
○	さらに、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。
×	同じような問題をくり返し解いて、力を伸ばしていきましょう。



さいたま市の児童が各設問に正答した割合(%)を示しています。
 ○：正答 ×：誤答 -：無解答を示しています。

領域 等	国語				設問のねらい
	大問	小問	平均 正答率	自分	
国語 の 基礎 的 な 力	1	ア			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。(漢)
		イ			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。(漢)
		ウ			
		エ			漢字を文中で正しく使うことができる。(漢)
		オ			当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。(漢)
	2	ニア			文の中の主語と述語の関係を理解することができる。
		ニイ			文の中の主語と述語の関係を理解することができる。
		ニ			相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことができる。
		三			表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。
		四			俳句を詠んだ作者の心情や情景について、描写を基に捉えることができる。
国語 の 力 を 深 め る 力	3	一		俳句を詠んだ作者の心情や情景について、描写を基に捉えることができる。	
		二		俳句を詠んだ作者の心情や情景について、描写を基に捉えることができる。	
	4	一		文章全体の構成や展開を考えることができる。	
		二		目的に応じて文章全体の構成の効果を考え、適切なものを選択できる。	
		三		表を用いた目的を考え、適切なものを選択できる。	
国語 の 力 を 深 め る 力	6	一		資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	
		二		話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。	
	7	一		話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。	
		二		話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。	
		三		話し手の意図をとらえながら聞き、効果的に助言をすることができる。	

問題ごとの市の平均正答率を示しています。

領域 等	算数				設問のねらい
	大問	小問	平均 正答率	自分	
算数 の 基礎 的 な 力	1	(1)			小数の減法の計算をすることができる。
		(2)			分数の乗法の計算をすることができる。
		(3)			分数、小数、整数の混合した計算をすることができる。
	2	(1)			1にあたる大きさを求めることに除法が用いられることを理解している。場面と図の関連を理解している。
		(2)			除法の性質を用いて、分数の除法を考えることができる。
		(3)			基準量と比較量に着目し、式に合う問題を選ぶことができる。
算数 の 力 を 深 め る 力	3	(1)			問題の場面を把握し、円の半径から円周を求めることができる。
		(2)			角柱の底面や高さなどがどこかを理解し、体積を求めることができる。
		(3)			図形を構成する要素に着目し、作図をしている図形を考えることができる。
	4	(1)			基準量・比較量・割合の関係を捉え、比較量を求めることができる。
		(2)			部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。
		(3)			部分を求める場面において、線分図に対応する比の関係を考えることができる。
算数 の 力 を 深 め る 力	5	(1)			示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。
		(2)			円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
		(3)			円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
	6	(1)			円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
		(2)			円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。
		(3)			事象を数値的に捉え、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなど調べるすることができる。
7	(1)			データを二次元の表にまとめることができる。	
	(2)			データを二次元の表にまとめることができる。	
	(3)			示された場面において、複数の数量から必要な数量を算出することができる。	

領域 等	社会				設問のねらい
	大問	小問	平均 正答率	自分	
社会 の 基礎 的 な 力	1	(1)			八方位(南東)を理解している。
		(2)			田と畑の地図記号を理解している。
		(3)			土地の高さの違いや地図記号から、市の地形の特色を読み取ることができる。
		(4)			土地利用の変化に着目して、市の様子の変化を考えることができる。
		(1)			飲料水が供給される仕組みを、資料から読み取ることができる。
		(2)			地域の発展に尽くした先人の働きを読み取ることができる。
	2	(1)			大量の情報や情報通信技術がスーパーマーケットで活用されているよさを資料から考えることができる。
		(2)			情報を有効に活用することについて、情報の受け手の立場から考えることができる。
		(1)			過去の自然災害の状況について理解している。
		(2)			過去の自然災害の状況について理解している。
社会 の 力 を 深 め る 力	4	(1)			日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて、憲法の特徴や役割を考えることができる。
		(2)			年表を手掛かりに、大和総がさかんに入りがれた時代と、その時代を代表する文化を選択することができる。
		(3)			年表を手掛かりに、大和総がさかんに入りがれた時代と、その時代を代表する文化を選択することができる。
	5	(1)			書院造の部屋の様子を手掛かりに、室町時代に広まった文化を選択することができる。
		(2)			8世紀ごろの日本と世界のつながりなどを手掛かりに、我が国が大陸文化を摂取してきたことを読み取ることができる。
		(3)			年表を手掛かりに、織田信長や豊臣秀吉が戦国の世を統一した過程を考えることができる。
6	(1)			年表を手掛かりに、織田信長や豊臣秀吉が戦国の世を統一した過程を考えることができる。	
	(2)			年表を手掛かりに、織田信長や豊臣秀吉が戦国の世を統一した過程を考えることができる。	
	(3)			条約改正を達成する過程で、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを考えることができる。	

出題のねらいを示しています。

領域 等	理科				設問のねらい
	大問	小問	平均 正答率	自分	
理科 の 基礎 的 な 力	1	(1)			メスシリンダーという器具を理解している。
		(2)			物は、水に溶けると液全体に広がることを理解している。
		(1)			空気や水はあたためられると体積が大きくなることを利用した現象を考えることができる。
		(2)			空気のあたためり方が日常生活のどんな場面に生かされているかを考えることができる。
	2	(1)			花粉がつくられている部分を理解している。
		(2)			顕微鏡の適切な操作手順を理解している。
		(1)			生物には食う食われるという関係について考えることができる。
		(2)			差異点や共通点などを基にして、個別に考察するのではなく、それぞれ分析して考察することができる。
3	(1)			植物の成長と太陽の動きを関係付けて捉え、適した栽培場所について考察している。	
	(2)			支点から力点や作用点への距離を変えた場合における力点にかかる力の変化を理解している。	
	(1)			力点・支点・作用点の理解を、身のまわりの道具に適用して考えることができる。	
	(2)			力が作用点に作用するときの向きを基に、つり合いを利用した道具について、より妥当な考えをつくりだしている。	
4	(1)			電気の通り道を「回路」ということを理解している。	
	(2)			簡易検流計の使い方や見方を理解している。	
	(1)			月は、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。	
	(2)			方位磁針の正しい使い方を理解している。	
5	(1)			土地の傾斜について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見直すことができる。	
	(2)			土地の傾斜について、より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察することができる。	

国語でがんばりたいこと

算数でがんばりたいこと

社会でがんばりたいこと

理科でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。